

コロナ拡大時の対応

パターン1 飲食の提供ができない場合

1 基本方針

グラントホールで、飲食無しで、式典のみ開催する。

2 予算面

食事が無くなるので食事代の支出が無くなるが、会場費の割引きがなくなる。

また、来訪ＪＣからの会費を徴収できないので、特定会費収入がなくなる。

とはいえ、来賓やシニアの食事代の負担が無くなるので、互礼会収支としてはむしろ持ち出しが減少する。来賓やシニアのご祝儀は、一般会計の寄付金収入に繰り入れているので、互礼会収支には影響しない。

【参考資料】グラントホール費用比較、予算比較

※議案書からリンクしてください（以下、同じ）。

3 実施面

食事の提供ができない程度の感染拡大が進んでいるので、余興は取りやめ、歓談もなしとするが、それ以外の進行は、変化なし。

会場配置は、テーブルではなく、スクール形式で椅子のみの配置とする。

【参考資料】タイスケ2

パターン2 緊急事態宣言の発出またはそれと同程度の自粛が求められる場合

1 基本方針

互礼会の開催は取りやめる。理事長所信のみ動画配信する。

2 予算面

会場費もなくなるので、互礼会収支としては持ち出しが減少する。

ただし、一般会計の寄付金収入は減少する。

【参考資料】予算比較

3 実施面

理事長の所信のみ動画配信する。

定例会は、z o o mなどを利用して行うことを検討する。